

春先の天候は変わりやすい！  
育苗管理はこまめに行い、丈夫な苗を！

## 第3号 育苗・ほ場準備編

庄内総合支庁 農業技術普及課

Tel. 0235-64-2103

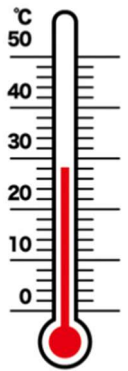
今年の播種作業は平年並みに始まりました。今後1週間の予報では、天気は周期的に変化。気温の変化が大きいので、育苗の温度管理には細心の注意を！

### 1 育苗期の管理

育苗ハウスやトンネル内は温度が急変しやすいので、温度計を設置して、下記表-1を参照し、適正な温度管理を行います。

表-1 生育時期別の適正な温度

|                 | 昼間     | 夜間   | 管理のポイント                                    |
|-----------------|--------|------|--|
| 出芽期(2日程度)       | 30~32℃ |      | 特に無加温では出芽が揃うよう、保温資材を活用するなど、こまめな温度管理に気を付ける。 |
| 緑化期(1.0葉期 3日程度) | 25℃    | 15℃  | 苗ヤケに注意！晴天日には、すぐに30℃以上になるので、早めに換気する。        |
| 硬化期(1.5葉期以降)    | 20~25℃ | 8℃以上 |  |



- ベタがけのマルチ資材は、緑化期が終わったら除去して、ガッチリした苗にします。
- かん水は、午前中の早い時間にたっぷり。夕方以降のかん水は、床土の温度を下げるので避けます。
- 追肥を行う場合は、稚苗は1.8葉期に、中苗は2葉期と3葉期に1箱当たり窒素成分で1g施用します。
- 田植え1週間前頃から育苗ハウスを開放し、苗を徐々に外気にならしめます。

### 2 プール育苗のポイント

プール育苗では、1.5葉期になったら入水し、以降は下記表-2のように管理します。

表-2 プール育苗を行う際の水管理と温度管理

| 生育ステージ  | 水管理   | 温度管理                                   |
|---------|---|--|
| 1.5~2葉期 | 1回目入水。水没しないよう、培土の高さまで。ただし、低温・降霜注意報が出されたら、箱の上まで湛水して保温する。 | 夜間5℃以上なら<br>昼夜とも<br>ハウス開放<br>低温降霜時は閉める |
| 2葉期以降   | 常時湛水。水深は箱の上1cm程度にする。ただし、最大でも苗丈の半分以下の水深にする。              |  |
| 田植え前日   | 運搬しやすくするため、前日の夕方には排水する。                                 |  |

- 追肥を行う場合は、入水前1.5葉期に全面散布(翌日以降湛水)、もしくは入水後1.8葉期に前日から落水して全面散布します。
- プール育苗では苗が徒長しやすいため、ハウス内の温度は慣行の育苗法より低めに管理します。

**STOP ! 農作業事故 < 春季農作業事故防止運動 4/10~6/10 >**

- ◎ ローター等の可動部を点検するときは必ずエンジンを止めて、巻き込まれ事故を防ぎましょう。
- ◎ トラクターの路肩からの転倒・転落に気をつけ、危険箇所は無理せず、安全走行に心がけましょう。

### 3 育苗時の病害に注意

育苗時に過度な高温、過湿、低温等により、立枯病などの病害が発生します。下記の注意点に気をつけ、それでも症状が広がったら防除します。

表-3 苗の病害についての病原別の特徴

| 病原菌              | 主な症状                        | 発生条件               | 注意点と防除例                         |
|------------------|-----------------------------|--------------------|---------------------------------|
| フザリウム            | 白～淡紅色のカビが発生                 | 緑化期の低温             | 低温を避け、適切な温度を保つ<br>タチガレン液剤の使用    |
| ピシウム             | 出芽後の芽、根の枯死<br>「ムレ苗」の発生      |                    |                                 |
| リゾプス             | 種子、芽の周辺に白いカビ<br>根の伸長停止、葉の黄化 | 出芽時の高温、多湿<br>過度の厚播 | 33℃以上の高温、多湿にしない<br>ダコニール1000の使用 |
| トリコデルマ           | 青緑色のカビが発生                   | 低pH、緑化開始時の低温       | ダコレート水和剤の使用                     |
| 苗立枯細菌病<br>もみ枯細菌病 | 第2葉の葉身基部が黄白<br>化し枯死、坪状の発生   | 高温、多湿              | 高温、多湿にしない<br>発生した場合は苗を処分        |

※ 農薬を使用する場合は、必ずラベルを読み、使用方法・時期等を確認します。

### 4 地力に応じた適切な基肥

近年の気象変動に対応し、高品質で良食味の米生産のために、品種・地力に応じた基肥をします。

表-4 品種別の基肥施肥量 (N成分kg/10a)

| 地力 | はえぬき    | つや姫                       | 雪若丸                       | ひとめぼれ   | コシヒカリ   |
|----|---------|---------------------------|---------------------------|---------|---------|
| 高  | 4.0～5.0 | 3.0                       | 4.0                       | 4.0     | 1.5～2.0 |
| 中  | 5.0～6.0 | 4.0                       | 5.0                       | 4.5～5.0 |         |
| 低  |         | 4.0を基本とし<br>1.0を上限に<br>増量 | 5.0を基本とし<br>1.0を上限に<br>増量 |         | 3.0     |

※ただし、堆肥を施用する場合は減肥する。

- 基肥は耕起後に施用することで、初期分げつが発生しやすくなります。
- 基肥一発肥料を使用する場合は、品種ごとの基準量(基肥+追肥)を超えないよう注意するとともに、生育をよく観察します。

### 5 適期移植に向けた準備を

田植えの適期(稚苗)は、**5月10日～20日頃**です。

特に「つや姫」「雪若丸」は、早めの移植に努めるとともに、他の品種より優先して植えるようにします。

**あぐりん(アグリネットやまがた)で最新情報入手!**

PCやスマートフォンから、作物別・地域別のタイムリーな技術情報・病害虫・防除・農薬情報をご覧になれます!

